

「都道府県に対する登録基幹技能者等の有効活用 及び適正評価に係る要望活動」に関する報告

記述者： 小林 雅英

1. 要望先：北海道 都・道・府・県
2. 要望日：平成 22 年 3 月 17 日(水)
3. 参加者：
 - (1) 都道府県： 5 名

氏名	所属	役職	備考
桶田謙一	北海道建設部建設管理局	技術管理課長	
高橋進一	北海道建設部建築局	計画管理課長	
長浜光弘	北海道建設部建設管理局 技術管理課	主幹	
廣部隆司	北海道建設部建設管理局 技術管理課	主査	
大原公子	北海道建設部建築局 計画管理課	主幹	

- (2) 協議会：11名

氏名	所属	役職	備考
高橋 勲	(社)日本造園建設業協会 北海道支部	事務局長	
竹内浩明	全国圧接業協同組合 連合会 (国際技研株)	(工事部長)	
北川道則	(社)北海道板金工業組合	事務局長	
広島維夫	(社)日本電設工業協会 北海道支部	事務局長	
澤田信彦	北海道建設躯体工事業 協同組合	理事長	
佐藤 孝	建設産業専門団体 北海道地区連合会	会長	
鈴木久名 健	北海道建設作工技建 協同組合	理事長	
橋本善夫	北海道建設作工技建 協同組合	事務局長	
佐藤孝之	(社)全国防水工事業協会 北海道支部	支部長	
飯島裕幸	(社)日本機械土木協会 北海道支部	支部長	
小林雅英	(社)北海道空調衛生 工事業協会	事務局長	

(3) その他: 名(参加した場合)

氏名	所属	役職	備考

4. 要望事項

(1) 登録基幹技能者(基幹技能者)の工事現場への配置義務について

都道府県の回答

- イ. 既に実施している
- ロ. 今後予定している 年 月頃予定
- ハ. 他(国や他県)の実施状況をみて判断する
- ニ. 実施する予定は無い
- ホ. その他(発注機関エリア内の職種別基幹技能者数を見ながら検討して行きたい)

都道府県からの意見・質問等

北海道の場合、他県と違って発注機関が分かれるため、そのエリア内の職種別資格者数が分れば、踏み込んだ検討ができる。
(社)北海道技能士会からも要望を受けている。基幹技能者は国土交通省、技能士は経済産業省と国の中でも管轄が違う。国から特別な指導等は受けていないが、技能士の場合、特記仕様書・共通仕様書でその使用について「努める」との表現で対応している。(努める規定)

(2) 入札制度での登録基幹技能者(基幹技能者)配置に関する加点措置

都道府県の回答

- イ. 既に実施している
- ロ. 今後予定している 年 月頃予定
- ハ. 他(国や他県)の実施状況をみて判断する
- ニ. 実施する予定は無い
- ホ. その他(発注機関エリア内の職種別基幹技能者数を見ながら検討して行きたい)

都道府県からの意見・質問等

経審での加点評価は承知している。総合評価落札方式での加点について、国から特別な指導等はないが、こちらも職種別のエリア別資格者数が分れば、踏み込んだ検討ができると考える。

(3) その他

都道府県からの意見・質問・要望 等

皆様方からの要望に対しても、多角的に検討して行く必要があると考えて、土木工事担当・営繕工事担当が出席している。他団体からの要望も含めて検討して行くこととしたい。

協議会メンバーからの意見・質問・要望 等

資格制度の発足には、職種により歴史的な差はあるが、各団体ともこの厳しい現状を踏まえて、講習会を地場で開催するなど、資格者の拡大に向けて鋭意努力しているので、その活用について特段のご配慮をお願いしたい。

最近、ゼネコンの下請工事で、基幹技能者の確保という条件が示され、基幹技能者には労務単価を加算するという事例があった。工事全体の労務を考えた場合、そのことが良いとは言い切れない部分もあるが、評価は確実に高まっている。

お手数ですが、出来ましたら電子データ(WORD ファイル)にて以下のアドレスに送信ください。
送信先(基金 中緒宛て) : nakao@kensetsu-kikin.or.jp